

漢方 小児科 婦人科 内科 産科
 浮田医院
 だより



第 33 号
 発行所： 内科 小児科 漢方 浮田医院
 〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
 TEL 0740-32-3751
 FAX 0740-32-3795
 (パソコン) <http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>
 (携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
 e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp
 発行日：平成14年2月5日(火)
 発行者：浮田 徹也



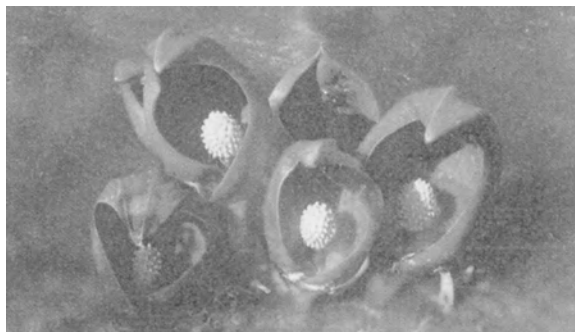
漢方薬のよさ(33)

アレルギー性鼻炎 I

あつという間に、一ヶ月が過ぎました。寒い寒いと引き籠もっている、二月はすぐに去ってしまいます。今年の大河ドラマの題名は「利家とまつ」、今までは「前田利家」となっていました。俳優も新旧、視聴者も老若男女、夫婦でひとつ、表と裏・今この時に必要なことの現われのような気がします。

携帯電話のホームページ、パソコンのホームページ、Eメールも皆様に上手に利用して頂き、ありがとうございます。
 アレルギー性鼻炎についてお話しします。一月初旬に花粉は飛び始めていますから、すでにアレルギー症状でお悩みの方もおられるでしょう。少量の花粉でもクシャミ、鼻水、鼻づまりになり、一月から五月ころまで続く方も多いようです。漢方医学

では、皮膚、鼻、気管、肺・などに関係した「肺」の働きが弱り、鼻や喉に水があふれてくると考えます。また、エネルギーを蓄える「腎」や消化と吸収の働きのある「脾」の機能低下も



座 禅 草



原因のひとつと考えられています。冷えた食べ物、体を冷やす食べ物、禁物で、肺、脾、腎の働きを高め、体を温める作用のある漢方薬を使用します。

実例を挙げましょう。

十九歳男性、年中、クシャミ、鼻水、鼻づまり。二月と八月は特にひどくなります。顔色は普通、お腹は弾力があり、右の肋骨下部に抵抗を認め、脈はピンと張り、舌に薄白苔が見られました。そこで、小青竜湯と桔梗石膏を処方(二月)。一週間後、にこやかな表情で来院。五月下旬、小紫胡湯と桂枝茯苓丸に変更。八月は例年ほどの症状が出ず、一年後廃薬。

八歳女児、顔、首、背中、肘、膝などが赤く(紅斑)、所々盛り上がり(痒疹)、痒い。全身の皮膚は乾燥(ドライスキン)し、引っ掻き傷が多数見られ、腹直筋は強く緊張し、脈は滑で速く、舌は淡紅色、乾薄黄苔が見られました。そこで、消風散と越婢加朮湯と保湿剤を処方しました。一ヶ月後より、痒疹が減少し始め、八ヶ月後には皮膚





のザラザラのみになり、温清飲と小建中湯に変更。三年後廃薬。三六歳女性、子宮筋腫、過多月経、月経痛、貧血で来院。顔色は赤紫、お腹は硬く、お臍の左右に強い抵抗を認め、脈は力強く、舌は紫紅色、乾白苔、舌の裏に太い血管が見られました。そこで、通導散と桂枝茯苓丸を処方。二ヶ月後、月経量も痛みも減り、六ヶ月後 貧血がなくなり、六ヶ月後、筋腫の大きさは半分になっていました。五六歳女性、動悸、ほてり、不安感を訴えて来院。寝つきが悪く、熟睡もできない。顔は青白く、右の肋骨下部に抵抗、臍の上と左に動悸を認め、脈は滑、舌は淡紅色、乾白苔、両側に歯痕が見られました。そこで紫胡加竜骨牡蠣湯と苓桂朮甘湯を処方しました。六ヶ月後はほぼ改善。三年後廃薬。

み、舌は淡紅色、乾白苔が見られました。付き添いの母親の話では、結婚後、姑と小姑に監視され、自由に外出したり、寛いだりできず、息の詰まる生活を送っていると言っています。そこで、神経を凶たくすることを目標に、紫胡桂枝乾姜湯と香蘇散を処方しました。二週間後より、疲れ、動悸、憂鬱さが減り、三ヶ月後、気持ちも楽になりました。漢方薬を飲むと安心と二年間続けて廃薬。

次回は、肝についてお話しします。私の好きなハーピストの一人、上松美香の演奏会が二月にあります。演奏が直接聴けるのを楽しみにしています。



〔院長〕



アトピー性皮膚炎

皮膚が、外邪(ダニ、ハウスダスト、肉、卵、紫外線・・・)に過敏になっています。五臓六腑を調整し、心の悲鳴に耳を貸し、スキンケア(軟膏〔時に、ステロイド〕、消毒剤、保湿剤、入浴剤など)をして下さい。漢方薬も効果的です。



子宮筋腫

過多月経(貧血)、月経痛、不妊症などの原因になります。筋腫になりやすい体質(瘀血)を変えれば、月経量や月経痛が改善してきます。筋腫の体質でなくなるまで、漢方薬を根気よくお飲み下さい。



心臓神経症

体質的に虚弱(胃腸虚弱や冷え症)で気遣いの多い方の中には、体も心も疲れやすく、脈の乱れ、息苦さや不安でお困りの方もおられるでしょう。漢方薬の力を借り、心の休息を十分にして下さい。



当院の漢方治療



剤型について

- ・ エキス漢方薬：錠型タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・ 漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿る場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症について

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱、・・・などすべての症状が適応です。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩こり、腰痛、便秘、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え症、低血圧、過敏性大腸、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、口内炎、口腔乾燥、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、带状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産・早産、妊娠中毒症、産後回復不良、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、うつ病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・・・・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬について

- ・ 軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせて治療。
- ・ 重症の病気、エキス漢方薬が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、子供の方、ご相談下さい(高齢の方もどうぞ)。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診断法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、心電図、骨量測定・・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

保険証の確認

保険書は、毎月確認しますから、ご提出下さい。
保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、受付に早急に連絡して下さい。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫[ねんざ]・・・などの治療に利用しています。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に利用しています。

外用薬・点眼薬・点鼻薬

外用薬(漢方薬、アトピー、痒[かゆ]み、非ステロイド、ステロイド、抗生物質、抗真菌、保湿、にきび)、点眼薬(抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤)、点鼻薬(抗アレルギー剤)、喘息吸入薬、口腔用(口内炎、抗真菌、うがい)、湿布薬(冷、温)、痔(軟膏、座薬、漢方薬)・・・・。

肩こりと腰痛体操

毎日簡単にできる体操です。毎日、肩や腰の筋肉を動かして下さい。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

骨量測定 (4～6ヶ月毎)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・。
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩こり、疲労回復・・・。
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

駐車場

- ・ 北一駐車場(40台)(日曜、祝祭日：終日閉鎖)
月・水・金：午前8：30～夕方診の終了
火・木・土：午前8：30～午前診の終了
- ・ 東・南駐車場(11台)(終日駐車可能)

従業員募集

看護婦、助産婦の方、ご連絡下さい。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	-	○	-	○	-	-

- ◆漢方外来(月～土)：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方・思春期の方(女性・男性、どなたでもお越しください)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診・妊娠中の方(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：2月19日、3月5日、4月16日、5月14日、6月11日(火)
対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

後期-母親教室

日時：2月12日、26日、3月12日、4月9日、23日、5月7日、21日(火)
対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込み方法：申込ノートでご予約して下さい。 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

クリームチーズの入ったさわやかな「リーブツツ (Les voutes)」「重ね合わせる」と言うパンをどうぞ。2月はバレンタイン用に「シャルロット・オ・ショコラ [charlotte au chocolat]」を、3月は「ルレ・オ・フリユイ」(Roule aux fruits)と言うパータ・ビスキュイで生クリームとフルーツを巻き込んだロールケーキを用意しました。母親教室をお楽しみに。



妊娠中の便秘

妊娠すると、赤ちゃんに栄養分や水分が行き、腸の中が乾燥し、大腸の運動が低下し、大きな子宮で直腸が圧迫されます。空気の乾燥する秋から冬は、便秘になりやすくなります。繊維の多い食物をとるように心がけ、無理にない程度の息抜き(散歩・・・など)をして下さい。便秘の方には、漢方薬を処方しています。



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、出来るだけ早く、受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カードと予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母子のてびき**をお渡しします。

立合い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウッキー！ Dr. ウッキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載 (i-mode 対応)。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ、産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。ホームページの内容は、待合でも閲覧できます。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。お一人およそ、15～20分で対応します(無料)。
日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

第14回妊婦のための料理教室

日付：4月11日(木) 時間：午前10時～午後2時。
対象：妊婦の方(無料) 献立：フランス料理。